

2013 癒しの夏プログラム 母子保養 in 留寿都

チェルノブイリへのかけはし 留寿都村
北海道のママたち

募集人数

母子 13組 40名前後

開催期間

7月27日～8月27日（7/27～29日の期間に入村をお願いします）
3週間以上の滞在が基本となります

ステイ場所

北海道虻田郡留寿都村 廃校を利用して行われます
千歳空港からルスツリゾート行きバスで片道2,500円

対象

福島原発事故で被災した地域の母子
子どもは0～6才優先とその兄弟姉妹
早川由紀夫先生の放射能汚染地図参照

1：資力基準

年収500万円以下

2：費用負担

（3週間の滞在費用）

滞在費用負担（3週間分）

年収	食費	雑費
400万～500万円以下	15,000円	3,000円
250万～400万	15,000円	なし
250万円以下	なし	3,000円

対象：小学生未満は無料です。小学生1人増える毎に、2000円ずつ追加となります。

3：子どもの交通費

・飛行機代（3～11才：往復で上限28,000円、12才以上：20,000円上限）バス代（子ども1人に付：3,000円上限）
それぞれかけはしの募金からご支援させていただきます。
★尚、領収書と引き替えとなりますので必ずご持参下さい。
・教室をカーテンなどで仕切って、各家族ごとの空間をつくります。
（1部屋 2～3家族が目安です。小さい教室です）

生活形態

1：食事

・食事のしたくは、ボランティアと共同で行い、上げ膳据え膳の生活ではありません。共同で作りあげていきます。
・離乳食は各自材料があるので、自分で作ります。
★ 子どもの食物アレルギーは親が責任を持って管理します。

2:入浴	・車で10分ほどのところに、源泉かけ流しの温泉（200 円）子どもは無料です。簡単な沐浴施設を仮設で建設予定です。
3：イベントについて	・なるべくイベントを少なめにして気分転換を優先し、近隣の大自然を味わうことを大切にします ・村の子どもたちとの交流事業は計画したいと思います。 ・健康法の講座、健康をつくるための食事の講座などを開催する予定です。（ヨガ、体操 料理教室など） ・子育て相談、内部被ばくに関する学習会なども予定しています。
4：取材や撮影について	・保養期間中の取材・撮影にはご協力をお願いいたしますが、難しい方はご相談を事前をお願いいたします。
準備していただくもの (私物は10kg程度に)	・オムツ・お風呂道具・洗面道具・薬・生理用品・衣類 (アクセサリなどの貴重品は持ってこないようにお願いします) ★衣類等の汚染について考慮し、基本的に10kgが限度ですが、詳細相談に応じます。タオル・シーツ・寝具類はこちらで準備します。
申込み方法	・メール又はFAXで所定の用紙に記入及びお問合せをお願いします。 uketuke@kakehashi.or.jp FAX：011-252-7787
1：申し込み期間	第1次締め切りは6月10日 この 期間の前後で、調整 させていただきます。 締め切りはあくまで目安です。申し込みが多数の場合は勝手ながらホームページで告知して締め切らせて頂きます。 詳細はメール及びFAXでお知らせします。
2：希望者が多い場合 優先させていただく順番	1：甲状腺異常、セシウムによる体内汚染が明確。 2：失業中、母子世帯、生活保護 3：子どもの年齢の低さ（低いほど優先） 4：母子（お子さんが小学生以上の場合は、空きがあるとき） ・非汚染地への母子避難中の方は優先順位は低くなります。
3：対象に入らない方	★さまざまな対象（年齢・資力基準など）から外れても、どうしてもいっしょに参加されたいという方は、別途ご相談下さい。
車での入村は禁止となります	★タイヤの除染の限界があるので、自家用車での入村は禁止とさせていただきます。

甲状腺エコー検査等は希望する方には北海道内の病院をご紹介します。

問い合わせ先：チェルノブイリへのかけはし 011-511-3680
uketuke@kakehashi.or.jp